

佐賀大学 海外留学・国際交流ウィーク 2015を開催しました

4月20日（月）から4月24日（金）の5日間を「海外留学・国際交流ウィーク」とし、留学や国際交流のイベントを行いました。

1日目のセッションでは、佐賀大学のさまざまな留学制度についての紹介、CIEE（国際教育交換協議会）によるTOEFL・国際ボランティアに関する情報提供のほか、交換留学経験者3名による体験談の発表が行われました。

2日目は午後12時から2時間、本庄キャンパス学生会館前の広場に協定校のブースを設置し International EXPOを開催しました。11か国・21の協定校から佐賀大学へ交換留学にきている留学生や、交換留学経験のある佐賀大生が、ブースに立ち寄った学生に協定校や現地での学生生活、生活環境等について紹介しました。



留学制度の説明を聞く参加学生たち（1日目）



母国についての説明をする交換留学生（2日目）



会場の様子（2日目）

3日目は「アジアで活躍できるリーダー養成プログラム」の成果報告会を開催しました。アジアの協定校に派遣される佐賀大学生は現地語の修得や専門科目の履修に加え、現地社会を深く理解するための活動や調査に携わります。本プログラムの第二期生学生の中から3名が成果報告を発表しました。アジアへの交換留学を経て、佐賀大学卒業後に中国の大学院へ進学した先輩2名にも Skype 中継で参加してもらい、アジアで活躍するために必要な力などについて話を聞きました。

4日目は夏休みや春休み期間中に参加できる短期海外研修プログラム（SUSAP）の成果報告会を行いました。春休みに実施した4プログラムの参加者がそれぞれのプログラムの魅力や現地で行った調査、自分自身の成長と今後の課題や目標などについて発表しました。

最終日の5日目は、「キャンパスでできる国際交流」をテーマにイベントを行いました。国際交流推進センターより選抜された学生グループであるグローバルリーダーズのメンバーが司会を務め、ランゲージラウンジをはじめとした活動の紹介を行いました。また、佐賀大学で活動する国際交流サークルによるプレゼンテーションや佐賀大学のサマープログラム（SUSP）についての紹介をしました。



中国での自主課題を発表する帰国学生（3日目）



プログラムについて発表する SUSAP 参加者（2日目）



司会のグローバルリーダーズと参加学生たち（5日目）